

氏名	東原 亜希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	助産学・代替医療				
学位	博士(看護学)				
学歴	聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	戸田中央産院、愛和病院、聖路加産科クリニックにて助産師として勤務。埼玉県立大学非常勤助手。秋草学園短期大学非常勤講師。青年海外協力隊(モルディブ共和国)、2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会(役職)	日本助産学会、日本母性衛生学会、日本ヒューマンケア・心理学会、日本母性看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1)著作					
1	パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護実習ガイド	共著	照林社	堀内成子編集、分担執筆東原亜希子他	2017.7
2	イラストと写真で学ぶ 逆子の鍼灸治療 第2版	共著	医歯薬出版	形井秀一総編集、分担執筆東原亜希子他	2017.6
3					
(2)論文					
1	妊娠28週以降の骨盤位の頻度と自然回転率	共著	日本母性衛生学会学術誌、58(2): 371-379	東原亜希子、堀内成子、山中美智子	2017.7
2					
3					
(3)学会発表					
1	骨盤位の妊婦が実施する棒灸の身体症状への影響	共著	第58回日本母性衛生学会学術集会、神戸市	○東原亜希子、堀内成子、中村幸代	2017.10
2	冷え症の有無は、骨盤位妊婦の転帰、マイナートラブルに影響するのか?	共著	第27回日本健康医学会、横浜市	○東原亜希子、堀内成子、中村幸代	2017.11
3	骨盤位の妊婦が実施する灸(有煙・無煙)の頭位変換への影響	共著	第32回日本助産学会、横浜市	○東原亜希子、堀内成子	2018.3
(4)その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援)		妊婦が行う無煙棒灸の灸実施前中後の熱刺激量と体温の継時的变化(研究代表者)	2017.4~2019.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)		妊婦のアドヒアランスを促進する冷え症改善支援モデルの開発、研究代表者中村幸代、リサーチアシスタント	2016.4~2020.3	
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1)講義					
1	該当なし				
2					
3					
(2)演習					
1	周産期のケア	2018.10~3	3年次助産系履修学生を対象に、褥婦の退行性変化の演習を行った。学生の自己課題が明確になり、総合実習や助産実習で活かせるよう、異なった3事例を用い、イメージしやすいように工夫した。また、集団指導実践に伴い、指導案作成から助言をし、グループ内での自分の役割や能力についても客観的に考えられるよう工夫した。		

2	分娩期のケア	2017.4~7	4年次助産系履修学生を対象に、学生自らが毎回フィードバックができるよう、個別性を重視しサポートした。
3	母性看護学Ⅲ	2017.10~2018.3	2年次生を対象に、新生児の抱き方、進行性変化(乳房乳頭の観察、授乳への援助法)について、ロールプレイを用いた演習を計画し、資料作成をした。
<b>(3)実習</b>			
1	母性看護学実習Ⅰ	2017.5~7	3年次生を対象に、6週間の産科病棟実習指導を行った。受け持ち事例を通して対象を理解し、学生一人一人が看護過程を展開し評価できるよう導いた。
2	総合実習	2017.7	4年次助産系履修学生4名を対象に、産科外来・病棟実習指導を行った。妊娠期から出産、産後と継続ケアの重要性と退院後を見据えたケアが行えるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ	2017.8~10	4年次助産系履修学生4名を対象に、8週間の分娩介助実習指導を行った。個別性を重視した助産診断、家族を含めたケアが実施できるよう指導した結果全員が目標を達成することができた。
4	IPW実習	2017.9	学生6名の教員ファシリテーターとして、チームの雰囲気がよくなるよう関わり、ファシリテートに徹底した。
<b>(4)論文指導</b>			
1	該当なし		
2			
3			
<b>(5)その他</b>			
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第8回学術集会	2017.1	学会の実行委員として学会運営に協力した。
2			
3			
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1)講演会、研修会等の講師</b>			
講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1 高校出張講座	埼玉県立大宮東高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	2018.2
2 妊婦・母子の運動指導(マタニティビクス・アフタービクス講師)	学校法人聖路加国際大学(聖路加助産院マタニティケアホーム)	マタニティビクス・アフタービクスクラスの企画運営	2017.4~現在
3			
<b>(2)国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1 該当なし			
2			
3			
<b>(3)ジャーナリズムでの発言</b>			
メディア等の名称	内容	年月	
1 該当なし			
2			
3			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1 情報図書委員会			
2 埼玉県立大学保健医療福祉学学会委員			
3			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
受賞名	主催	受賞年月	
1 該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>			
特許名	特許番号	登録年月	
1 該当なし			
<b>8. 特記事項</b>			
公益財団法人 埼玉県国際交流協会 日本人講師			